

動的な環境設定管理





www.faronics.com

このページは空白です。

お問い合わせ

Web:	www.faronics.com
Eメール:	sales@faronics.com
電話:	800-943-6422 または 604-637-3333
Fax:	800-943-6488 または 604-637-8188
営業時間 :	午前7:00時から午後 5:00時 (太平洋標準時刻)
住所:	<i>Faronics Corporation</i> 609 Granville Street, Suite 1400 Vancouver, BC V7Y 1G5 Canada

テクニカル サポート

当社では、使いやすく、問題のないソフトウェアを設計するためにあらゆる努力を重ねています。万が一、問題が発 生した場合は、テクニカル サポートまでご連絡ください。

Eメール:	support@faronics.com
電話:	800-943-6422 または 604-637-3333
営業時間 :	午前7:00時から午後 5:00時 (太平洋標準時刻)

Faronics について

Faronics は、複雑な IT 環境の管理を容易にし、セキュリティを確保する、業界をリードするソリューションをお届けしています。Faronics の製品は、システムの可用性を 100 パーセント確保することで、多くの情報技術専門家やコンピュータ室管理者の日常業務を劇的に改善しました。学校施設をはじめ、医療機関、図書館、政府組織、または法人企業で Faronics の顧客中心の取り組みによるパワフルなテクノロジー改革を有効に御使用頂いています。

最終更新日:2018 年 10 月

© 1999 - 2018 Faronics Corporation. All rights reserved. Faronics、Deep Freeze、Faronics Core Console、Faronics Anti-Executable、Faronics Device Filter、Faronics Power Save、Faronics Insight、Faronics System Profiler、WINSelect は Faronics Corporation の商標および/または登録商標です。その他すべての会社名および製品名はそれぞれの所有者の 商標です。 このページは空白です。

目次

お問い合わせ	3
テクニカル サポート	3
Faronics について	3
Faronics WINSelect 概要	7
WINSelectの版について	7
Standard	7
Enterprise	7
システム要件	7
ソノトワエア	7
リ 小一下 され (いる ノロク フム	7
Faronics Core Console 安什	/
WINSelect イノストールの悦安	8 0
Falonics Core Console 077×1^{-1}	0 8
Faronics Core Consoleを使用したワークステーションでのライヤンスの適用	10
ワークステーション上でのWINSelectの手動インストール	11
WINSelect のライヤンス	14
Faronics Core ConsoleでのWINSelect Loadinの設定	14
ワークフェーション設定の取得	14
ノ ノハノ ノヨノ 改足の取付	17
Faronics winselect Enterprise Console Cの設定を適用	15
WINSelect Enterprise Console $s_{17} = 1$	15
フステムコントロール パネル	10
ゴントロールレハハル デスクトップと Windows タスクバー	17
ドライブとファイル拡張子	18
スタート メニュー	19
ネットワーク制限	20
ホットキー	21
パフリケーション	22
Microsoft Office	23
アーユー	24
インダーネント シンテッ	23
使用許諾ポリシー	
アドミニストレータ	29
パスワード	29
保護	29
ADM テンプレート	30
ユーサー セッション	31
WINSElect テノノレート	
WINSelect キオスク 七一トの 使用	33
WINSelect + オ スク ハイル	
人ケンユール設定アクション	35
「付録 A: ユーザー シナリオ	36
User I ー フイノフリン人アム官埋者	36
User 2 一 正耒 11 官理有	
「付	37
付録 C: WINSelect のアンインストール	38

このページは空白です。

Faronics WINSelect 概要

WINSelect について

共用およびキオスク コンピュータ上でのユーザー アクティビティの制御は、常に IT 担当者を悩ませる問題 です。IT 管理者は、ワークステーションの使用方法を制御するために、特定のアプリケーション、Web サイト、 およびメニュー オプションへのユーザー アクセスを簡単に管理できるソリューションを必要とします。 Faronics WINSelect は、管理者がワークステーションの能力を完全に制御できるようにすることによって、 コンピュータの使用目的を保護します。Windows オペレーティング システムの機能、スタート メニューの 機能、Internet Explorer の機能、および Windows Explorer のオプションはすべて、組織のニーズに適合する ように大幅にカスタマイズできます。

WINSelect の版について

Standard

・ WINSelect Standard Editionは、スタンドアローン ワークステーション上で動作します。

Enterprise

・ WINSelect Enterprise Editionは、ネットワーク上で、集中管理されたインストール、配備、管理、 および複数のワークステーションの制御を提供します。

Faronics Core について

Faronics Coreで、中央から複数のワークステーションをモニタリングおよび管理することができます。Faronics Core で、管理されているワークステーションの現在の状況を表示し、コマンドをそれらのワークステーションの1つ以上 に適用することができます。コンピュータのシャットダウン/再起動、ワークステーション保護設定の中央制御などの 先進機能が含まれます。

システム要件

ソフトウェア

Windows XP Professional SP3 (32 ビットか 64 ビット)、Windows 7 (32 ビットか 64 ビット)、Windows
 8.1 (32 ビットか 64 ビット)、Windows 10 バージョン 1803 (32 ビットか 64 ビット)

サポートされているプログラム

- Microsoft Office XP、2003、2007、2010、2013
- · Internet Explorer 10以上
- ・ Mozilla Firefox (バージョン 62.0 まで)

Faronics Core 要件

Faronics Core のシステム要件については、『Faronics Core ユーザー ガイド』を参照してください。最新のユーザー ガイドは 次から入手可能です。http://www.faronics.com/library

WINSelect インストールの概要

WINSelectをインストールおよび設定するには、次の手順に従います:

- Faronics Core Consoleをインストールし、ワークステーション エージェント インストーラを作成/ 配備します。
- WINSelect Loadinのインストールと設定
- WINSelect ワークステーション インストール ファイルの配備

Faronics Core Console のインストール

Faronics Core Consoleのインストールとワークステーション エージェント インストーラの作成/配備に関する情報は、『Faronics Core Consoleユーザーガイド』を参照してください。



WINSelect をインストールする前に、Windows XP および Windows 7 の高速ユーザー切り替えオプションを無効にする必要があります。詳細については、http://support.microsoft.com/kb/279765 を参照してください。

新規ユーザー プロファイルを作成している間は WINSelect を無効にする必要があります。 WINSelect による保護の一環として、レジストリ編集ツールおよびコマンド プロンプトが無効に されます。管理者はこれらのツールを使用する時に WINSelect を無効にする必要があります。

WINSelect のインストール時にリムーバブル ドライブが接続されている場合、そのドライブにド ライブ文字が割り当てられます。不必要な WINSelect 設定の適用を避けるため、インストール時 にはリムーバブルドライブを切断しておくことを推奨します。

ワークステーションに対して Windows グループ ポリシーが設定されており、WINSelect が同じ ポリシーを設定する場合、WINSelect の設定が優先します。WINSelect の設定とグループ ポリシー の設定が重複しない場合、グループ ポリシーはそのまま適用されます。

WINSelect Loadinのインストール

WINSelect Loadinは、Loadin用 WINSelect_Console_Loadin_Installer.exe ファイルを使用して、Faronics Core Consoleにインストールします。WINSelect Loadinは、Faronics Core Consoleがインストールされていないシステムにインストールすることはできません。

WINSelect Loadinをインストールするには、以下の作業を行って下さい。

- 1. CD-ROM ドライブに メディア パッケージのCD-ROM を挿入します。WINSelectをインターネット
 - でダウンロードした場合は、.exe ファイルをダブルクリックし、インストール処理を開始します。

👘 Faronics WINSelect Loadir	n - InstallShield Wizard	×
WINSELECT.	Faronics WINSelect Loadin用のInstallShield ウ ィザードへようこそ	
	InstallShield(R) ウィザードは、ご使用のコンピュータへ Faronics WINSelect Loadın をインストールします。「次へ」をクリックして、 続行してください。	
	警告: このプログラムは、著作権法および国際協定によって保護 されています。	
www.faronics.com	バージョン 7.20.2120.603	
	< 戻る(B) (次へ(N) > キャンセル	

[次へ]をクリックし、継続します。

2. ライセンス同意書を読んで、同意します。



[次へ]をクリックし、継続します。

3. [ユーザー名]、[組織]、[ライセンスキー]を入力します。[評価版を使用]チェックボックスを選択して、評価版をインストールします。評価版は30日間で有効期限が切れます。

🙀 Faronics WINSelec	t Loadin - InstallShield Wizard	×
ユーザ情報		
情報を入力してください。		WAY
フーザー名(U):	Faronics Corportation	
60.00 (O.).		-
#田楠政(〇):		
ライヤンス キー(K):		
	□ 評価版を使用(E)	
InstallShield	バージョン 7.2	0.2120.603
	< 戻る(B) 次へ(N) >	キャンセル

4. インストールする場所を指定し、[次へ] をクリックします。デフォルトは、C:\Program Files\Faronics\Faronics Core\Loadins\WINSelect. です。場所を選択するには、[変更]をクリックします。

伊 Faronics インスト・ このフォルダ にインストー	WINSelect Loadin - InstallShield Wizard 区 ール先のフォルダ にインストールする場合は、「次へ」をクリックしてください。 別のフォルダ いする場合は、「変更」をクリックします。
	Faronics WINSelect Loadin のインストール先: C:¥Program Files¥Faronics Core¥Loadins¥WINSelect¥ 文更(C)
TestallChield	バージョン 7.20.2120.603
u svenbrield -	< 戻る(B) (次へ(N) >) キャンセル

4. [インストール]をクリックしてインストールを完了します。



インストールの後、すぐにFaronics Core Consoleを再起動することが推奨されます。

Faronics Core Consoleを使用したワークステーション上でのWINSelectのインストールとアップグレード

Faronics Core Console を使用して、ワークステーション上にWINSelectをインストールすることができます。最近、WINSelectのアップグレードされたバージョンを購入された場合、Faronics Core Consoleを使用して、アップグレードすることができます。

WINSelectをインストール または アップグレードするためには、単一 または 複数のワークステーションを選択し、右ペインの [ワークステーションの構成] をクリックし、[詳細] > [WINSelect] > [WINSelect クライアントのインストール/アップグレード]を選択します。

WINSelect ダイアログが表示されます。パスワードを入力します。ライセンス キー を ライセンス キー フィールドに 入力し、[WINSelectのインストール]をクリックします。

Faronics Core Consoleを使用したワークステーションでのライセンスの適用

WINSelectの評価版を使用している場合、ライセンスを適用し、完全版に変換することができます。

Faronics WINSelectライセンスは、Faronics Core Consoleから適用できます。ライセンスを適用するには、 次の手順を実行します。

1.	Faronics Core Consoleを起動します。
2.	Core Serverを右クリックして、[プロパティ]を選択します。
3.	[WINSelect]タブをクリックします。[WINSelect]タブには、バージョン、ライセン
	スキー(完全版の場合)、およびライセンスの有効期限が表示されます。
4.	ユーザセッション後にコンピュータを再起動するには、[ユーザセッション終了後
	にコンピュータを再起動する]チェックボックスを選択します。
5.	[編集]をクリックし、[ライセンスキー]フィールドにライセンスキーを入力しま
	す。
6.	[適用]をクリックします。[OK]をクリックします。

Faronicsライセンスは次のように機能します。

Core Server (Faronics Coreのコンポーネント)は、Faronics WINSelectクライアントがインストール

されたワークステーションにライセンスキーを自動的に適用します(コンピュータがオフラインの場合、ライセンスキーはコンピュータがオンラインに戻ったときに一度適用されます)。 ライセンスキーはワークステーション上で手動で編集できません。



ライセンスキーをLoadinのインストール中に入力した場合、[プロパティ]タブ でもう一度入力する必要はありません。

ワークステーション上でのWINSelectの手動インストール

WINSelect Loadin をインストールするときに、WINSelect ワークステーション インストーラ ファイルは *C:¥Program Files¥Faronics¥Faronics Core 3¥Loadins¥WINSelect¥Workstation Insallers¥en ディレク*トリに展開 されます。

ワークステーション上にWINSelectをインストールするためには、32ビットオペレーティングシステムでは、WINSelect_Ent_32-bit.msi をダブルクリックします。

WINSelect をワークステーションに手動インストールする場合は、以下の作業を行って下さい:

1. .msi ファイルをダブルクリックし、インストール処理を開始します。

Faronics WINSelect Enterprise Edition Setup						
WINSELECT	Edition Setup Welcome to the Faronics WINSelect Enterprise Edition Setup Wizard The Setup Wizard will install Faronics WINSelect Enterprise Edition on your computer. Click Next to continue or Cancel to exit the Setup Wizard.					
www.faronics.com	Version 7.20.2111.603 Back Next Cancel					

[次へ]をクリックし、継続します。

2. ライセンス同意書を読んで、同意します。



[次へ]をクリックし、継続します。

ユーザ名、組織、ライセンスキーを入力します。ライセンスキーを持っていない場合、フィールドを空のままにしておきます。評価版は、30日後に機能を停止します。WINSelectをすでに購入頂いている場合、www.faronicslabs.comにログインすることでライセンスキーを取得できます。

🙀 Faronics WINSelect	Enterprise Edition Setup	×
License Key Please enter your cust	omer information	
User Name:	Faronics Corporation	
Organization:	Faronics Corporation	
	v	ersion 7.20.2111.603
	Back Next	Cancel

[次へ]をクリックし、継続します。

4. インストールする場所を指定し、[次へ]をクリックします。デフォルトは、C:\ProgramFiles\Faronics\WINSelect です。

🕼 Faronics WINSelect Enterprise Edition Setup
Destination Folder Select a folder where the application will be installed.
Install Faronics WINSelect Enterprise Edition to:
C:\Program Files\Faronics\WINSelect\
Browse
Version 7.20.2111.603
Back Next Cancel

5. *WINSelect管理者パスワード*を入力します。確認のために、再度パスワードを入力します。[次へ] を クリックし、継続します。

Faronics WINSelect Enterprise Edition Setup	
Installation Configuration Enter the following information to personalize your installation.	
WINSelect Administrator Password	
Confirm Password	1
	Version 7.20.2111.603
Back Ne	ext Cancel

6. [インストール]をクリックしてインストールを完了します。

Loadinのインストールが成功すると、Faronics Core Consoleが再起動し、1つ以上のワークステーションが 選択された時、[アクション] ペインに WINSelect専用の機能リストが表示されます。

1つ以上のワークステーションを選択し、右クリックのコンテキスト メニューを使用して、WINSelectの機能 を利用することもできます。

● Faronics Core Console - [Faronics Core Console¥localhost(administrator)¥ワークステーション¥マネージド ワークステーション]							- 🗗 🗙	
ファイル(E) 操作(A) 表示(V) ヘルプ(H)								
Faronics Core Console	マネージド ワークステーション	マネージド ワークステーション 0 ワークステーション						
Collocationst administratory Collocationst administrator	ワークステーション	バージョン (エージェント)	MAC アドレス IP アドレ	ス OS の種類	最後のエージェント イベント	最新	マネージド ワークステーション	
	このビューに表示する項目はありません。						👪 グループ アクション	•
■ 📲 検出されたワークステーション							表示	+
							最新の情報に更新	
⊨-⊇ レポート							一覧のエクスポート	
							18 117	•
٢	<					>) 🖮 🌖 🗛 🤮 🥔 I	🙁 capis 🗧
							/	

- コンソール ツリー: Faronics Core Console ノードを選択するために使用されるペイン。ワーク ステーション、グループ、スケジュール タスク、および作成したレポートを表示。
- ワークステーションリスト:現在 Faronics Core Consoleと通信しているワークステーションをリスト するペイン。また、このリストは、ワークステーション固有の情報をカラムに表示します。
- アクションペイン: WINSelectを有効/無効にし、設定するペイン。

WINSelect のライセンス

ライセンス キーがない場合、WINSelect の評価版を使用します。評価版は、30日間有効です。WINSelect のフル バージョンにアップグレードするには、バージョン情報 ノードで、有効な*ライセンス キー*を入力します。

30日を経過するまでにキーが入力されなかった場合、ワークステーション上のWINSelect は無効になります。

Faronics Core ConsoleでのWINSelect Loadinの設定

Faronics Core Console でワークステーションのWINSelectを設定するためには、[ワークステーション] > [マネージド ワークステーション] から、WINSelectを設定したいワークステーションをクリックし、[WINSelectの設定] をクリックします。Faronics WINSelect設定画面が表示されます。

ワークステーション設定の取得

選択したクライアントの設定を取得するには、[取得]をクリックします。1つのクライアントからのみ、設定を取得できます。

同じ設定を複数のワークステーションに設定するためには、アドミニストレータ ノードからWINSelectテンプレート を読み込みます。詳細は「WINSelectテンプレート」の項を参照してください。

Faronics WINSelect Enterprise Consoleでの設定を適用

管理者が WINSelect Enterprise Console で設定を修正するとき、ノードのテキストは赤色になり、管理者が変更したことを示します。変更を適用するために、[適用] をクリックし、設定を編集したペイン または すべてのペインに適用します。

WINSelect Enterprise Console

WINSelect Enterprise Consoleの バージョン情報ノードが次のように表示されます。

🚯 Faronics WINSelect Enterprise		? ×
パージョン情報 - キオスク - シントロール パネル - デントワール パネル - デスクトップと Windows タスカパ - ドライブとアイル超ス子 - ネットワーク期限 - ホットキー - ホットキー - アブリケーション - Microsoft Office - メニュー - インターネット ブラウザ - ブリンタ - 伊用許諾ポリシー D- アドミニストレータ - ADM デンブレート - コーザ セッション - WINSelect デンブレート	バージョン情報 WINSELEOT 製品: バージョン: 認証: クロダクトキー クィザードモード	
I	v8zhqexkj7kpnr の設定を取得できません 理由: エラー	
取得 (R) デフォルトに戻す	へルプ <u>DK</u> きゃンセル 適用	

コンソールは、管理者が Windows の環境および機能をカスタマイズするために使用する、一般的な機能の グループを集めた一連のノードから成っています。

*キオスク*ノードでは、管理者は一部の Windows 機能だけを使用するワークステーションを作成でき、WINSelect の基本的な機能をごく簡単なステップで有効にできます。

システム ノードにはコンピュータを保護し、主要な Windows 設定への無許可のアクセスを禁止する一連の オプションが含まれています。ここで、管理者はシステム規模の Windows コンポーネントへの変更を禁止す ることができます。

アプリケーション ノードによって管理者は、WINSelect ワークステーションにあるソフトウェアをカスタマイズ できます。アプリケーション ノードを使用して、Microsoft Office や種々のインターネット ブラウザなどの アプリケーションへのアクセスを許可および制限することができます。

プリンタノードを使用して、管理者は、ローカルおよびネットワークプリンタを無効にすることができます。

使用許諾ポリシー ノードを使用して、管理者は、使用許諾ポリシーを設定し、ワークステーション ユーザーに それを表示することができます。

アドミニストレータ ノードを使用して、ユーザーは、WINSelect を有効化および無効化し、ユーザー セッション の作成やパスワードの追加または変更などのWINSelect の設定をカスタマイズすることができます。WINSelect のテンプレートを作成することもできます。

ワークステーションを設定するには、いずれかのノードをクリックします。



Consoleで設定された変更を適用するためには、[適用]をクリックします。

システム

システムノードを使用して、システム規模のオプションを設定できます。

🐳 Faronics WINSelect Enterprise		? ×
- パージョン1番組 - キオスク - シントロールパネル - デスクトップと Windows タスクパ - ドライブとファイルな3長子 - スタート メニュー - ネットワーンの制限 - ホットキー E: アプリケーション - Microsoft Office	ータスク マネージャー 「「」「クスク マネージャ](Ctrl+Alt+Del)を無効にする	
	「Windows エクスプローラー」	
- メニュー - インターネット ブラウザ - ブリンタ - 使用許諾ポリシー 日- アドミニストレータ - ADM テンプレート	□ UNC パスを無効にする □ フォルダ操作を無効にする	
ーユーザー セッション - WINSelect デンプレート	 ドラッグ&ドロップを無効にする ステータス Wathneyk Jikner の設定を取得できません。 	
▲ ブフォルトに戻す	理由: エラー 	

タスク マネージャを無効にするには、[タスク マネージャを無効にする] を選択します。これは、ユーザーが タスク マネージャにアクセスすることをブロックし、現在のタスクが実行されることを保証します。許可され たユーザーのみが、プロセスを終了させることができます。

ユーザーが Windows Explorer で 表示、貼り付け、コピー、プロパティ などのコマンドにアクセスできないようにするには、[右クリックを無効にする]を選択します。

ユーザーが共有ネットワーク リソースへアクセスすることを拒否するには、[UNC (Uniform/Universal Naming Convention) を無効にする]を選択します。

フォルダの名前の変更、移動、または削除を禁止するには、[フォルダ操作を無効にする] を選択します。これは、 ユーザーが Windows Explorer を使用して、フォルダをリネーム または 変更することを禁止します。

ユーザーが別の場所にファイルおよびフォルダを移動するのを禁止するには、[ドラッグ&ドロップを無効に する] を選択します。また、このオプションは、すべてのアプリケーションにマウス ポインタをドラッグする ことで、テキスト、イメージを選択することを禁止します。

キオスク モードが有効になっているときは、[タスク マネージャおよび UNC パスを無効に する] オプションは自動的に有効にされます。

コントロール パネル

コントロール パネル ノードは、Windows コントロール パネル アプレットの表示を制限するオプションです。Windowsコントロール パネルにはアクセスできますが、一部のアイコンが非表示にされることがあります。

🐳 Faronics WINSelect Enterprise		? ×
バージョン信報報 キオスク ■ システム ■ プントロールパネル ーデスクトップと Windows タスクバ ーデスクトップンと Windows タスクバ ーデオ(シンティル)が設まそ ースタート ンニュー ーネットラーン つ事限 ーオットキー ■ アプリケーション ● アパレティット ブラウザ フリンタ ー 使用取り注ボリシー ■ アドスートー ー ADM デンプレート ■ アジュンレート ■ アジュンレート ■ アジュンレート ■ アジュンレート	コントロール パネル	

その場合でも一部のコントロール設定は、コマンドラインまたは[実行]ダイアログからアクセスおよび変更することができます。

コントロール パネルのすべてのアイコンへのアクセスを許可するには [アプレットを表示する] を選択します。それによって ワークステーションのコントロール パネルにあるすべてのアプレットが表示されます。すべてのコントロール パネル アプレットへのアクセスを禁止するには、[すべてのアプレットを非表示にする] を選択します。[アプレットを表示する] および [すべてのアプレットを非表示にする]では、特定のアプレットへのアクセスを許可または制限することはできません。

特定のアプレットを指定するには、[*選択したアプレットを非表示にする*] をクリックし、制限するアプレットの隣の ボックスを選択します。アプレットの隣りのチェックボックスがクリアされている場合、表示され、アクセス可能な アプレットであることを意味します。

アプレットをリストに追加するには、[アプレットを指定]フィールドにアプレット名を入力し、[追加]をクリックします。

アプレットを削除するには、リストの中のそのアプレットをハイライト表示し、[削除] をクリックします。削除された アプレットはまだコントロール パネルに表示されます。このアプレットは、WINSelect のコントロール パネル アプレット のリストから削除されただけです。

デスクトップと Windows タスクバー

デスクトップおよび Windows タスクバー ノードから、ワークステーション デスクトップおよび Windows タスクバーの使用を制限するためのオプションを利用できます。

Faronics WINSelect Enterprise		?	×
- パージョン情報 - ネオスク - システム - システム - システム - ビスパップと Windows シスクバ - ドライとフィイル総計子 - スタートメニュー - ネタートメニュー - ネタートメニュー - ネットキー - ホットキー - アノリケーション - Microsoft Office - メニュー - インターネット ブラウザ - フリンタ - 使用許話ポリシー - アドミニストレータ - ADM デンプレート - ユーザー セジョン	デスカトップ]
<	アクションセンターを素効にする(Windows 10) ステータス 複数のワークステーションの設定を取(得できません)		
取得(R) デフォルトに戻す	ヘルプ(H) OK (Q) キャンセル (Q	·) 適用	(A)

[デスクトップの右クリックを禁止する] を選択した場合、ユーザーはデスクトップの右クリックを利用できません。ユーザーは右クリック メニューおよび [新規] や [プロパティ] などのコマンドにアクセスできなくなります。

[デスクトップ アイコンの右クリックを禁止する] を選択した場合、ユーザーはデスクトップ アイコンの右ク リックを利用できません。ユーザーは [開く] などのコマンドにアクセスできなくなります。また、ユーザーは ショートカットを削除したり、その名前を変更したりすることができなくなります。

[すべてのアイコンを非表示にする] と [選択したアイコンを非表示にする] の 2つのラジオ ボタンは、非表示に できるデスクトップ アイコンを示します。WINSelect はワークステーション上のデスクトップ アイコンを認識 し、それらをリストします。選択したアイコンを非表示にするには、[選択したアイコンを非表示にする] ラジオ ボタンを選択し、非表示にする各アイコンのボックスを選択します。



キオスク モードが有効になっている場合、このノードへの変更はできません。[システム ノードの右 クリックを無効にする] を選択した場合、デスクトップおよび Windows タスクバー ノードの 2つの [右クリックを禁止する] オプションも無効になります。

ドライブとファイル拡張子

ドライブおよびファイル拡張子ノードから、ワークステーションにインストールされている各アプリケーション に対して、ドライブと指定されたファイル拡張子へのアクセスを制限するオプションを利用できます。

🟶 Faronics WINSelect Enterprise		? ×
-パージョン情報 -キオスク ロ・システム -デスクトップと Windows タスクバ -デスクトップと Windows タスクバ -デスクトップと Windows タスクバ -デスクトップと Windows タスクバ -アンクロジス - スタート メニュー - ホットキー - アフリケーション - Microsoft Office -メニュー - フリンタ - 伊用評毛ポリシー - スDW デンプレート - ADM デンプレート - ユーザー セッション WINSelect デンプレート	ドライブとファイル拡張子 違択したファイル拡張子を無効にする 違択したファイル拡張子を無効にする すべて選択 遅択をすべて解除 すべて選択 違択をすべて解除 ・ た 、 ・ 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	
<pre>4</pre>	- ステーダス V82Ingexkj7kpnr の設定を取得できません 理由: エラー	
取得(R) デフォルトに戻す	<u></u>	

利用可能なドライブおよびファイル拡張子の隣のボックスにチェックを入れることによって、それらのドライブ とファイル拡張子を無効にできます。必要に応じて、[すべて選択] または [選択をすべて解除] オプションを使 用します。

この機能が有効にされた後は、ファイルおよびディレクトリ構造は表示されません。例えば、すべてのドライブ が選択された場合、そのドライブに含まれるディレクトリの検索は許可されません。ドライブを選択せずに ファイル拡張子を選択した場合、そのファイル拡張子がすべてのドライブで無効にされます。

システム ドライブが無効にされた場合でも、ユーザーのディレクトリへのアクセスは、デフォルトでは無効にされません。アクセスを禁止するには、[ユーザー ディレクトリへのアクセスを無効にする] を選択します。例えば、C: がシステム ドライブとしてリストされている場合、C: の隣のボックスにチェックを入れると [ユーザー ディレクトリへのアクセスを無効にする] が選択可能になります。管理者はここで、このボックスを選択することによってユーザーによるディレクトリ C:\Documents and Settings\User フォルダへのアクセスを制限することができます。ユーザーは、デスクトップ だけにアクセスできます。このオプションは、システム ドライブ 文字の隣のチェックボックスが選択されている場合にだけ利用可能です。ユーザーが自分のディレクトリ内にファイルを保存および作成するのを許可する場合は、このチェックボックスをクリアします。

リムーバブル ドライブへのアクセスを禁止するには、リムーバブル ドライブの表示されるチェックボックスを 選択します。この機能を選択すると、ユーザーは接続されているリムーバブル ドライブを見ることができなく なります。ファイル拡張子を使用できないようにするには、その拡張子を選択します。リストに他のファイル 拡張子を追加するには、表示されたフィールドにその拡張子を入力し、[拡張子の追加]をクリックします。 この機能を有効にすると、指定された拡張子が付いているファイルをアクセスまたは作成できなくなります。



WINSelect のインストールおよび設定時にリムーバブル ドライブが接続されている場合 は、そのドライブにはドライブ文字が割り当てられます。不注意でリムーバブル ドライブ に WINSelect 設定が適用されるのを避けるために、インストールおよび設定時にはリムー バブル ドライブを切断しておくことを推奨します。

スタートメニュー

スタート メニュー ノードから、ワークステーションのスタート メニューへのアクセスを制限するためのオプ ションを利用できます。1つまたは複数のオプションを選択することによって [スタート] メニューへのアクセス をカスタマイズします。

Faronics WINSelect Enterprise		?	>
	スタート メニュー (スタート) メニュー・運目を無効にする ゴベでの (スタート) メニュー・運目を無効にする 選択した (スタート) メニュー・運目を無効にする Gortans (Windows 10) Unindows ストア (Windows 8, Windows 10) ✓ (スタート) メニュー・運目の右グリックを無効にする (Windows 8/10) ✓ (スタート) メニュー・変有効にする (Mindows 8/10) づうジック スタイルの (スタート) メニューを有効にする (Mindows 8/10) マクシック スタイルの (スタート) メニューを有効にする (Mindows 10) アクリケーションのアンインストールを無効にする アクリケーションのウスクイズを無効にする タイルの右グリックとスタート画面のカスタマイズを無効にする	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	
	ステータス 複数のワークステーションの設定を取得できません		
>			

[スタート]メニューを有効にする - [スタート]メニューへのアクセスを許可するには、このオプションを選択します。

[スタート]メニューのすべての項目を無効にする - [スタート]メニューを完全に無効にするには、このオプションを選 択します。[スタート]メニューの中から選択した項目を無効にする - [スタート]メニューの中から選択した項目を無効 にするには、このオプションを選択します。無効にする特定の項目またはオペレーティングシステムのバージョンの チェックボックスを選択します。[スタート]メニューでの右クリックを無効にする - [スタート]メニューでの右クリックを 無効にし、ユーザーがサブメニューにアクセスできないようにするには、このオプションを選択します。このオプション はWindows 8.1では使用できません。クラシックスタイルの[スタート]メニューを有効にする - クラシックスタイルの[スタート]メニューを有効にするには、このオプションを選択します。このオプションはWindows 7以降で使用できます。

Windows 8.1/Windows 10 バージョン 1803

管理しているコンピュータにWindows 8.1がインストールされている場合、次のオプションを選択できます。 再起動して常にデスクトップを開く(Windows 8.1のみ) - コンピュータを再起動して常にデスクトップモード にする場合、このオプションを選択します。このオプションを選択しないと、Windows 8.1を実行しているコ ンピュータは、再起動後にデフォルトでスタート画面になります。

タスクビューを非表示にする(Windows 10 バージョン 1803のみ) - Windows 10 バージョン 1803でタスクビ ューを無効にするには、このチェックボックスを選択します。タスクビューにより、コンピュータで現在実行 中のプログラムを切り替えることができます。

アプリケーションのアンインストールを無効にする - ユーザーによるWindows 8.1アプリケーションのアン インストールが行えないようにするには、このオプションを選択します。アプリケーションのタスクバーへの 固定を無効にする - ユーザーによるWindows 8.1アプリケーションのタスクバーへの固定ができないよう にするには、このオプションを選択します。 タイルの右クリックとスタート画面のカスタマイズを無効にす る - ユーザーによるスタート画面のタイトルの右クリックおよびスタート画面のカスタマイズができないよ うにするには、このオプションを選択します。 ネットワーク制限

ネットワーク制限 ノードから、ネットワーク制限オプションを利用できます。管理者は、これらのオプション によって、特定の Web サイトへのアクセスを制限できます。

😽 Faronics WINSelect Enterprise	Ľ×
バージョン特報 キオス3 キオス3 ウンオテル ・カントロール パネル ・テオス3 ・アントロール パネル ・デスクトッシュー ・ネットワーク物限 ・ホットキー ・アクリケーク対解 ・ホットキー ・ホットキー ・アクリケーション ・州はrosoft Office ・メニュー ・ペトワーク物限 ・パー・ク ・パー・・・ ・パー・ク ・パー・・・・ ・パー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
取得 (R) デフォルドに戻す ヘルプ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	

ワークステーションにネットワーク制限を適用するには、[有効にする]を選択します。

特定のドメイン名を制限するには、それを [URL を指定する] に入力し、[追加] をクリックします。名前がリスト ボックスに表示されます。

IPアドレスまたは IPアドレスの範囲を制限するには、表示されたフィールドにアドレスを入力し、[追加] を クリックします。アドレスがリストボックスに表示されます。

アドレスの範囲を指定した場合、その範囲内の各アドレスが、選択したラジオ ボタンに応じて、制限または 許可されます(*[選択したものを許可]*または *[選択したものを許可しない]*)。

リストの動作を指定するには、[選択したものを許可] または [選択したものを許可しない] ラジオ ボタンを 選択します。どのエントリが選択されているかを基に、選択した範囲またはドメイン名が制限または許可され ます。[選択したものを許可] が選択されている場合、選択されているエントリが許可されます。[選択したもの を許可しない]が選択されている場合、選択されているエントリは許可されません。

SFaronics WINSelect Enterprise	×
パージョン/指報 キオスク ● システム ● システム ● ブントロール パネル ● デスクトップと Windows タスクパ ● ドライブとアイル拡張子 ● スクトレール パネル ● アプリケンタ油原 ● ホットキー ● アプリケンション ● Microsoft Office ● メニュー ● インターネット ブラウザ ・ ペットマーク ● 内容の デンプレート ● コーザ セシション WitNSelect デンブレート ○ ステータス	<u>、首加</u>) 首加 再明条
	山 適用

リストボックスから項目を削除するには、その項目を選択し、[削除]をクリックします。

ホットキー

ホットキー ノードから、指定したホットキーのシステム レベルでの使用を制限するためのオプションを利用できます。 複数のアプリケーションで機能するキーの組み合わせは、ワークステーション上でどのアプリケーションが有効に されているかに関係なく、無効にすることができます。

🚭 Faronics WINSelect Enterprise		? ×
- パージョン情報報 - キオスク 日・システム - ブントロール パネル - デスクトップと Windows タスクパ - ドライブとファイル拡張子 - スタートメニュー - ネットワーク制厚及 - 新いワーク制厚及 - ガリンキ - Microsoft Office - インターネット ブラウザ - ブリンタ - 使用許諸ポリシー 日・アジレート - ADM デンブレート - ADM デンブレート - ユーザー セッション - WINSelect デンブレート	木ットキー 無効にするホットキーを選択 タベて選択 オベて選択 白は+A Alt+H Alt+B Alt+I Alt+C Alt+I Alt+C Alt+J Alt+C Alt+A Alt+C Alt+I Alt+C Alt+A Alt+C Alt+A Alt+E Alt+K Alt+F Alt+A Alt+G Alt+N Alt+G Alt+N Alt+G Alt+N Alt+G Alt+N Alt+G Alt+N Alt+G Alt+N Alt+G Alt+N	選択をすべて解除 Alt + T Alt + Ta Alt + U Alt + W Alt + W Alt + W Alt + Y DIF 周期条
▲ 取得 (R) デフォルトに戻す	_ ステータス 	

リストから、ワークステーション上で無効にするホットキーを選択します。すべてのホットキーを選択 選択を解除する場合、[*すべてを選択*]または [*選択をすべて解除*]をクリックします。

リストされていないホットキーを追加するには、キーの組み合わせを入力し、[リスト ボタンへの追加] を クリックします。

[削除]オプションは、管理者によって追加されたカスタムキーの組み合わせだけを削除します。

lect Enterprise		? >
	ホットキー 無効にするホットキーを選択 Alt + A Alt + H Alt + B Alt + I Alt + C Alt + K Alt + G Alt + N Alt + G Alt + N オ 小トキーの指定 なし なし	オペで選択 選択をすべて解除 Alt + 0 Alt + T Alt + Prnt Scrn Alt + U Alt + Rnt Scrn Alt + U Alt + R Alt + X Alt + S A
▲ ■ 取得 (R) デフォルトに戻す	ステータス - ステータス - v82Ingexkj7kpnr の設定を取得できません 理由: エラー 	

アプリケーション

アプリケーション ノードによって、アプリケーションをカスタマイズできます。

このオプションは、キオスク モードが有効になっているときは使用できません。管理者が特定の利用可能な アプリケーションだけを組み込んだ Windows 環境を作成し、WINSelect キオスクを作成しないことを希望 する場合、このノード上で希望するアプリケーションを指定できます。

🗑 Faronics WINSelect Enterprise	? ×
パージョン/情報 キオスク ウントロール パネル デスクトックアン Windows タスクパ デスクトックアン Windows タスクパ デスクトックアン Windows タスクパ ードライブスクテックル 北京子 スタート メニュー -スタート メニュー インターネット ブラウザ クリターション Microsoft Office メニュー インターネット ブラウザ ウドミニストレータ A M デンブレート コーザー セッション WinSelect デンブレート ステータス	<u>徐</u>
vi2chqexkj7kpmrの設定を現状争できません 理由: エラー	
取得 (R) デフォルトに戻す ヘルプ 通	痈

Program Files フォルダ内にある利用可能なすべての .exe ファイルをリストに含めるには、[すべてのプログラム を表示] を選択します。すべてのアプリケーションを選択または選択解除する、すべてのアプリケーションを リストする、またはリストからアプリケーションを削除するには、対応するオプションを選択します。

個別のアプリケーションを追加するには、[追加] ボタンをクリックします。希望するアプリケーションの .exe ファイルを検索して、[開く]をクリックします。

特定のアプリケーションの実行のみを許可するか、特定のアプリケーションの実行を禁止します。各アプリ ケーションの隣に、リストの動作を指定するための選択されたチェック ボックスが表示されていなければなり ません。許可されたアプリケーションが別のアプリケーションを開く場合、その 2番目のアプリケーションも リストする必要があります。

禁止されるアプリケーションは、その場所ではなく名前によって認識されます。アプリケーションが禁止されているアプリケーションとして指定されている場合、それを別のフォルダに移動した場合でも、WINSelect は それを開くことを禁止します。



Windows システム フォルダからアプリケーションを選択すると、システムが不安定になること があります。

アプリケーションを削除するには、[削除] ボタンをクリックします。

Microsoft Office

Microsoft Office ノードから、Microsoft Office メニュー項目へのアクセスを制限するためのオプションを利用できます。Microsoft Office の管理機能がリストされ、管理者はユーザーがこれらの設定を許可なく操作するのを禁止できます。



ワークステーション上で Microsoft Office アプリケーションのメニュー項目を制限するために、リストから メニュー項目を選択します。リストからメニュー項目を選択して、[適用]をクリックします。

次のMicrosoft Office プログラムは、その隣のチェックボックスを選択することで、使用禁止にすることができます:

マクロの無効化 は、マクロとショートカットキーの表示を禁止します。

Disable VB Editorの無効化、マクロとVisual Basic Editorとショートカットキーの表示を禁止します。

テンプレートとアドインの無効化、Microsoft Officeのテンプレートとアドインを使用禁止にします。

Visual Basic アプリケーションの実行を無効化する。、Visual Basic プログラムの実行を停止します。

Webの無効化、Microsoft OfficeのWebツールバーを使用禁止にします。

アプリケーションの自動修復の無効化、ヘルプメニューの検出と修復オプションを使用禁止にします。

メニュー

メニュー ノードから、選択されたアプリケーション内の特定のメニュー項目に対するアクセスを制限するためのオ プションを利用できます。

laronics WINSelect Enterprise		<u>? ×</u>
Faronics WINSelect Enterprise パージョン情報目 ーキオスク ーキオスク ーキオスク ーキフスク ーキウステム ーキウンテム ーキッシステム ーキッシステム ーキッシステム ーキッシンク ビッシンク レール/ペネル ーテントロール/ペネル ーテントロール/ペネル ーテンション ーネットワーンが用き ーネットマー ローンク制印度 ホットキー ローアブリケーション 一Microsoft Office メニュー ー インターネット ブラウザ ー ブンターネット ブラウザ	メニュー設定 アプリケーションを選択	<u>? ×</u> 無効にするメニュー項目を選択
 使用計話ポリシー 戸ドミニストレータ ADM テンプレート ユーザー セッション WINSelect テンプレート 	記録… 前ID余 「 ステータス	
▲ 取得 (B) デフォルトに戻す		<u>QK きゃンセル 適用</u>



WINSelectは、Microsoftメニューに追加された製品のメニューのみを記録します。異なった メニュー構造をもつ製品のメニューは、適切に記録されません。

制限するメニューを記録するには、次の手順に従います。

1. [記録] をクリックし、実行ファイル (.exe) を検索することによって特定のアプリケーションを選択 します。下の例ではメモ帳アプリケーションが選択されています。

ファイルを開く				<u>? ×</u>
ファイルの場所①:	C WINDOWS		🔹 🔇 🤌 💌	 -
最近使ったファイル で デスクトップ マイドキュメント マイ ドキュメント マイ ニンピュータ	addins AppPatch assembly Config Connection Wizard Cursors Debug Driver Cache Flome Fonts Help ime	Media Microsoft.NET msagent msapps PCHEALTH Prefetch provisionine Registration Presources	SoftwareDistribution Growsst System System Web Wwin_32 Web WinSxS Sexplorer Shh Sostepsd Freedit	twunk_16 twunk_32
ミン マイ ネットワーク	iava	Construction ServicePackFiles	TASKMAN	F
	ファイル:名(N): ファイル:の種類(T):	notepad 実行ファイル (*.exe)		・ 「開(@) キャンセル

- 2. 制限するメニューを一度に 1回開きます。WINSelectメニューレコーダーにより、選択したメニューが記録されます。
- 3. アプリケーションを閉じます。

Select Enterprise		<u>?</u> ×
- パージョン情報級 - キオスク ローシステム ーントロールパネル ーデスクトップと Windows タスクパ ーデスクトップと Windows タスクパ ーデスクトップと Windows タスクパ ースタートメニュー ・ネットワーク制限 ホットキー ロ・アブリケーション ー Microsoft Office ーメニュー ーインターネット ブラウザ ・ブリンタ ・使用評評語ポリシー ロ・アブノット ・トローン	メニュー設定 アプリケーションを選択 notepadexe	無効にするメニュー項目を選択 □ つアーブル(F) □ ページ設定(U). □ メモ帳の終了 0.0 □ 土書さ(茶存'G) Ctrl+Y □ 日刷(P). Ctrl+Y □ 日刷(P). Ctrl+Y □ 日刷(P). Ctrl+N □ 日影(0). Ctrl+O □ トピックの検索(H) □ 人がうび □ 日編(A) □ 日(A) □ 日(A)
WINSelect テンプレート	<u>記録…</u> <u>利期</u> ステータス Wezhqexkj7kpnr の設定を取得できません 理由:エラー	

WINSelect は選択した .exe ファイルを左側に、管理者が開いたメニュー項目を右側に表示します。これらの メニュー内のコマンドを制限するには、ツリー構造内で特定のメニュー コマンドをクリックします。

このオプションが有効にされた後、ユーザーはアプリケーション内のコマンドにアクセスできますが、それらのコマンドを使用することはできません。



メニュー コマンドを選択した後、選択されたコマンドのセットを変更することはできません。 メニューリストおよび繰り返された手順で.exeファイルを削除する必要があります。

Microsoft Office のメニュー コマンドは記録できません。

インターネット ブラウザ

インターネット ブラウザ ノードから、インターネット ブラウザ機能およびメニューへのアクセスを制限するためのノードを利用できます。ユーザーがインターネットにアクセスすることを要求され、場所の保存、ページの印刷、お気に入りメニューへのアクセスなどが許可されていないときにこれらの機能を有効にします。

•	Faronics WINSelect	Enterprise ? ×
バージョン情報 + キオスク - システム - コントロールパネル - デスクトップと Winkis タスクパ - デスクトップと Winkis タスクパ - スタートメニュー - スタート - スロー - プンター - スト - マンター - スト - マンター - ト - マンター - ト - マンター - ト - マンター - ト	インターネット ブラウザ 右ジリックを無効にする アドレス バーからファイ アドレス バーからファイ アドレスパーを削除す ホームページ: メニュー プラウザを選択 Internet Explorer Mozilla Firefox ステータス 設定が正常にご適用されました.	> /ルやフォルダが開かないようにする る(Internet Explorer 9.0以降のみ) 無効にするメニュー項目を選択 ✓ Internet Explorer の [お気に入り] メニューを無効にする
取得(R) デフォルトに戻す	ヘルプ (出)	OK (Q) キャンセル (C) 適用 (A)

[右クリックを無効にする] チェックボックスを選択することで、右クリック機能を使用禁止にします。これはユーザーが右クリックのメニューにアクセスすることを禁止し、リンクを保存したり、アドレスをコピーしたりすることを禁止します。

ネットワーク上に保存されているファイルへのアクセスを禁止するには、[アドレス バーからファイルやフォルダ が開かないようにする] を選択します。それによってユーザーは、インターネット上のローカル ドライブまたは ディレクトリ位置にあるドキュメントを開くことを禁止されます。

ワークステーションのブラウザ ホーム ページを指定されたスペースに入力します。これは常にブラウザを開い たときに表示される Web ページです。これはインターネット ブラウザで指定されているホーム ページを上書 きします。

リストからブラウザを選択し、そのブラウザ内で無効にするメニュー項目を選択します。[ファイル]、[表示]、 [お気に入り] などのメニューを選択して、ユーザーがそれらのメニューをアクセスできないようにすることが できます。

メニュー全体およびメニュー内の個別のコマンドを無効にできます。メニュー全体を無効にするにはトップ レベルの隣のチェックボックスを選択します。メニュー内のコマンドを無効にするには、各コマンドの隣の チェックボックスを選択します。

「お気に入り」(保存されている頻繁に閲覧する Web サイトのリスト)を無効にするには、[Internet Explorer の お気に入り メニューを無効にする] チェックボックスを選択します。ユーザーはお気に入りリストを表示したり、 新しいお気に入りページをブックマークしたりすることができなくなります。

プリンタ

プリンタ ノードから、ワークステーションに接続されている利用可能なプリンタへのアクセスを制限するためのオプションを利用できます。ワークステーションのプリンタリストが表示されます。この機能を使用して、プリンタ全体を制限するか、またはユーザーにマテリアルの印刷を、選択した 1台または複数のプリンタ上で指定した部数だけ許可します。

オフライン プリンタへのアクセスを制限できます。これは覚えておくと役に立ちます。なぜなら、オフライン プリンタはまだ印刷ジョブを受け取ることができるからです。

Select Enterprise		? X
- パージョン情報 - キオスク ロ・システム - エントロール パネル - デスクトップと Windows タスクバ - ドライブとファイルは弦長子 - スタート メニュー - ネットワーク制取 - ホットキー ロ・アッリケーション ロ・アッリケーション - Microsoft Office - メニー - インターネット ブラウザ	 ブリンター ・ 印刷車限を有効にする ・ すべて無効にする ・ 選択した項目のみ無効にする 	-
● 2022 ● 使用評話ポリシー ● アドミニストレータ ● ADM テンプレート ● ユーザー セッション ● WINSelect テンプレート	「印刷制限 セッションあたりの印刷制限ページ数 (0 は無制服): 0	
	ステータス V8zIngexkj7kpnr の設定を取得できません 理由: エラー	
取得 (R) デフォルトに戻す		

プリンタ アクセスの設定に、利用可能な 3つのオプションのいずれかを選択します。[印刷制限を有効にする] は、プリンタを使用禁止にするものではありません。それは、ユーザーがワークステーションから印刷するこ とができるページの数を制限するだけです。印刷制限を指定する場合、所定のボックスにセッションあたりの ページ数を入力します。0(ゼロ)は無制限を表します。

[すべて無効にする] は、ワークステーションに追加された各プリンタからの印刷を制限します。選択した プリンタのみ無効にする場合、リスト上の特定のプリンタをチェックし、[選択したプリンタのみ無効にする] を選択します。

プリンタの追加および接続の詳細は、Windowsのマニュアルを参照してください。

使用許諾ポリシー

使用許諾ポリシー ノードを使用すると、ワークステーションの起動時に [使用許諾ポリシー (AUP)] を表示できます。 この機能によって管理者は、ユーザーがワークステーションにログインするたびに使用条件を指定できます。ユーザ ーは、ワークステーションを使用する前に、このポリシーを承諾する必要があります。

ファイルサイズには制限がなく、拡張子.rtfがあるファイルだけをインポートできます。

🚭 Faronics WINSelect Enterprise		? ×
$ \begin{array}{c} -\sqrt{1-y_2} \sqrt{\frac{1}{2}} \frac{1}{4} \frac{1}{4} \frac{1}{4} \frac{1}{4} \frac{1}{2} \sqrt{\frac{1}{2}} \sqrt$	使用許諾ポリシー ワークステーション起動時に AUP を表示 ▲ インポート	
	v&zhaexkj7kpnr の設定を取得できません 理由: エラー	
取得 (R) デフォルトに戻す	<u></u>	

この機能を有効にするには、[ワークステーション起動時に AUP を表示] を選択します。この設定を有効にする と、ユーザーはポリシーを承諾しないとワークステーションにアクセスできなくなります。

[インポート]をクリックし、AUP テキストがある.rtfファイルの場所を検索します。



WINSelect は、インポートされた使用許諾ポリシーの記述を実行するものではありません。

アドミニストレータ

アドミニストレータ ノードは、管理者によって要求されるパスワードを変更するため、および WINSelect を有 効または無効にするために使用します。

😽 Faronics WINSelect Enterprise		? ×
 バージョン情報報 キオスク ランステム コントロール パネル デスクトップと Windows タスクバ ドライブとファイルは効果子 スタート メニュー ネットワーク制取良 ホットキー E・アブリケーション Microsoft Office メニュー インターネット ブラウザ 	- バスリード 新しいパスワード:	
- ブリンタ - 使用非諸ポリシー 日 77ミニストレータ - ADM テンプレート - ユーザー セッション - WINSelect テンプレート	 保護 WINSelect を有効にする アドミニストレータに対して WINSelect を無効にする 	
▲ アンチャントレン (B) デンオルドレン (E) デンオルドレン (E) デンオルドレン (E)	ステータス v8zhoexk;7kpnr の設定を取得できません 理由: エラー <u>ヘ</u> ルプ <u>D</u> K <u>キャンセル</u> 適用	

パスワード

パスワードを入力し、確認のために再入力します。*[適用]* WINSelect のインストール後に見かいこのた をクリックして、新しいパスワードを適用します。 者パスワードは、1つだけ設定することができます。

保護

ワークステーション上で WINSelectを有効にするためには、[WINSelect を有効にする] を選択します。

「アドミニストレータに対してWINSelectを無効にする」を選択した場合、WINSelectで指定した制限は、管理者パス ワードを使用してログインするユーザーには適用されません。

ADM テンプレート

Active Directory Management (ADM) テンプレート ノードから、*.adm* テンプレートをインポートおよび設定するオ プションを利用できます。WINSelect は管理者にグループ ポリシー設定を編集するためのインタフェースを提供しま すから、管理者は、WINSelect の機能を補完するために独自の *.adm* テンプレートを作成することができます。

詳細については、Microsoft のアクティブ ディレクトリ管理に関するサポート記事を参照してください。Active Directory Management.

🚭 Faronics WINSelect Enterprise		<u>?</u> ×
-バージョン構築 - キオスク ロ・システム - デスクトップとWindows タスクバ - デスクトップとWindows タスクバ - ドライノとファイル43課子 - スタートメニュー - ネットメー - スタートメニュー - アットワーク加限 - ホットキー - アットワーク加限 - ホットキー - フックーネット ブラウザ - フックーキ - クックーネット ブラウザ - フックー - クリーク - マーサー セッション - WINSelect デンブレート	ADM デンブレート パンボート・・・ 訴定・・・ 訴定・・・ 「「「「」」 「」 「 「 「	
取得 (<u>R</u>)デフォルトに戻す	<u> へい プ QK </u>	

.adm ファイルを追加するには [インポート] を選択します。.adm テンプレートをインポートすると、 $C:\WINDOWS$ inf に WINSelect.adm ファイルが作成されます。

.adm ファイルを開いた後、[設定]を選択し、グループ ポリシー エディタを開き、そこで変更を行います。

ADM テンプレートを削除しても、適用されている設定は削除されません。WINSelect コントロール パネルからテンプ レートが削除されるだけです。変更を行うには、[設定] を選択するか、または Windows レジストリ エディタを使 用する必要があります。

🚭 Faronics WINSelect Enterprise		? ×
	ADM デジブレート	
x	V8zhqexkj7kpnr の設定を取得できません 理由: エラー	
取得 (R) デフォルトに戻す	<u></u>]

ユーザー セッション

ユーザ セッション ノードから、時間制限付きのユーザ セッションを作成するためのオプションを利用できます。これ によって管理者は、ユーザがワークステーションにログオンしていることができる時間の長さを指定できます。

Select Enterprise	<u>? ×</u>
パージョン情報 キオスク ウンステム ーゴントロールパネル ーデスクトップと Windows タスクバ ーデスクトップと Windows タスクバ ーディントワーク制設 ーホットアーク制設 ホットネー アプリケーション Microsoft Office メニュー インターネットブラウザ フリンタ 使用非毛ボリシー Pドミニストレータ ADM デンプレート ユーザ セッション WINSelect デンブレート	2-ザ-セッション・ す 有効化 ユーザーセッション・時間(分単位): 生成するコード数: 1 ▼
	vazindexki/kpnr WEX定を4Ki寺できません 理由: エラー
	<u>へ</u> ルプ <u>DK</u> <u>きゃンセル</u> 適用

ユーザ セッション機能を有効にするには、[有効] が選択されていることを確認し、次の手順を実行します。

- 1. [ユーザ セッション時間(分単位)] ドロップダウンリストから時間を選択します。時間の値の範囲は、5 分から 1440 分です。
- 2. [生成するコード数] ドロップダウンリストから、作成するセッション コードの数を選択します。数値の範囲は 1 から 1000 です。
- 3. 警告を表示するには、[セッションの有効時間が切れるx分前に警告メッセージの表示]チェックボックスを選 択します。x の値を 1 から「最少のユーザ セッション時間から 1 を引いた数」の間で選択します。たとえば、3 つのユーザ セッションを選択し、それぞれを 15 分、30 分、60 分に設定した場合、警告は 1 から 14 の間で なければなりません。
- ユーザ セッション後にコンピュータを再起動するには、[ユーザ セッション終了後にコンピュータを再起動する] チェックボックスを選択します。
- 5. [コードを生成]をクリックします。
- 6. [OK] をクリックします。



ユーザ セッションの設定が適用されるには、WINSelect 保護が有効になっている必要があります。WINSelect 保護が有効になっていない場合、管理者ノードで [WINSelect 保護] チェックボックスを選択します。

新しい設定を適用するために Windows をログオフすると、次にワークステーションを使用するユーザは、ユーザ セッションを開始する前に、生成されたコードを入力するよう要求されます。

管理者は、[アドミニストレータ] チェックボックスを選択することができます。WINSelect ログイン画面が表示されま す。管理者モードで WINSelect を開始するために、管理者パスワードを入力することができます。ワークステーショ ンユーザとしてログインし、セッションがその割り当てられた時間に達した場合、新しいコードの入力を要求するダイ アログが表示されます。新しいコードを入力するまで、ユーザはワークステーションを使用できなくなります。新しいコ ードを入力しないと、セッションは時間切れになります。コードを使用すると、そのコードはリストから自動的に削除さ れるため、同じワークステーションで再使用できません。管理者としてログインしている場合、ユーザセッションの時 間切れはありません。管理者は、このノードの中で、複数のセッションの長さに対応する複数のコードを作成できます。 すべてのコードを印刷するオプションを利用できます。コードを使用すると、ネットワーク上のすべてのワークステーションから自動的に削除されます。コードを使ってコンピュータにログオンすると、画面の上部に次のステータスバーが 表示されます。 ユーザ セッション ノードで[セッションの有効時間が切れる x 分前に警告メッセージの表示]チェックボック スを選択している場合、セッションの有効時間が切れる x 分前に、警告が表示されます。



[再通知] をクリックして、ドロップダウンリストから分数を選択します。[OK] をクリックします。選択した分数 が過ぎると、警告が再表示されます。

警告	
	セッション終了までの時間: 59 分
_	● 再通知 1 ▼ 分
	○ メッセージを今後表示しない
	ОК

警告を再表示したくない場合、[このメッセージを今後表示しない] をクリックして、[OK] をクリックします。 管理者は、このノードの中で、複数のセッションの長さに対応する複数のコードを作成できます。次に、これ らのコードをユーザに提供すると、ユーザがこのワークステーションにログオンすることができます。1 つ のコードだけを印刷する必要がある場合、そのコードを右クリックし、[印刷] を選択します。

個別のコードを削除するには、そのコード上で右クリックし、[削除] を選択します。コードのグループを削除 するには、リスト内の最初のノードを右クリックし、[削除] を選択します。

作成されたコードをクリップボードにコピーするには、[全コードのコピー]をクリックします。希望のプログラムを起動させて、コードを貼り付けることができます。

デフォルトのプリンターを使って、作成されたコードを印刷するには、[すべてのコードを印刷] をクリックします。

WINSelect テンプレート

WINSelect テンプレート ノードから、すべての構成済み WINSelect 設定を WINSelect テンプレートとしてエクスポートするためのオプションを利用できます。次にこのテンプレートを、WINSelect によって保護されている任意の数のワークステーションに配備できます。

このテンプレートは専用ファイルフォーマットとして保存され、WINSelect でだけ開くことができます。

line with the second se		? X
-バージョン情報 -キオスク ロ・システム ロ・システム - コントロールパネル -デスクトップと Windows タスクバ - ドライブとファイル拡張子 - スタート メニュー - ネットワーク制限 - ホットキー ロ・アブリケーション - Microsoft Office - メニー - インターネット ブラウザ - ブリンタ - 使用非話ポリシー ロ・アジェントレータ - ADM テンブレート - ユザー セジョン - MINSelect デンブレート	WINSelect デンプレート エクスポート ● Microsoft Office ● アフリケーション ● インターネット ブラウザ ● キオスク ● コントロール パネル ● ステム ● ステム ● ステム ● アントン ● ステム ● アントン ● ステム ● ステム ● ステム ● ステム ● ステム ● ステム ● フンドン ● フンドン ● フンドン ● ステム ● ステム ● ステム ● フンドン ● ステム ● フンボート・・・ インボート・・・	
	- ステータス- V&Zhqexkj7kpnr の設定を取得できません 理由: エラー	
取得(R) デフォルトに戻す	<u></u>	

WINSelectテンプレートを作成するためには、WINSelect ノードのリストで、テンプレートの一部であるすべての設定を選択します。必要に応じて、[*すべて選択*] または [*選択をすべて解除*] オプションを使用します。[*エク* スポート]をクリックし、テンプレートの保存場所を指定し、テンプレートに一意な名前を付けて保存します。

WINSelectテンプレートをインポートするには、[インポート] 指定します。 をクリックし、希望するテンプレートの場所を

ファイルを開く				<u>? ×</u>
ファイルの場所①:	C WINDOWS		💽 🕝 🦻 📂 🔝	
最近使ったファイル び デスカトップ マイ ドキュメント マイ コンピュータ マイ ネットワーク	addins AppPatch assembly Connection Wizard Cursors Debug Driver Cache EHome Fonts Help ime java LastGood	Media Microsoft.NET msagent magps mui POHEALTH Perenet Prefetch Pref	 SoftwareDistribution srchasst system system32 Temp Temp Wain, 32 Web WinSxS 	
	ファイル名(N): 「 ファイルの種類(T): 「	MINSelect 設定ファイル (*.w	sd)	開(@) キャンセル

WINSelect キオスク モードの使用

この設定によって管理者はキオスクタイプのワークステーション (指定した実行可能ファイルだけを実行できる) を作成できます。また、この設定によって [スタート] ボタンおよび Windows タスクバーにアクセスできなくなります。キオスクモードにアクセスするには、管理コンソールの左ペインのキオスクノードをクリックします。

Faronics WINSelect Enterprise		?	\times
パージョン情報 ● システム ● システム ● ニントロール パネル - デスクトップと Windows タスクバ - デスクトップと Windows タスクバ - デクイとファイルは改長子 - スタート メニュー - ネットフーク制服限 - ホットスー - ホットスー - ペンターネット ブラウザ - ブリンタ ● 伊用許若ポリシー ● アドミニストレータ - ADM デンブレート - ユーザー セッション - WINSelect デンブレート	 キオスクモード 「有効化 「タブレットモードを無効にする(Windows 10のみ) Kiosk アプリケーションを指定して、自動的に起動するアプリケーション 自動的に間始されたアプリケーションをKiosk Launcherから除外 アプリケーション・ウィンドウの現在のサイズと位置をそのまま保たま ステータス マガンテーションの設定を取得できません 	<u>肖明</u> 涂 /を選択します: する はす。	
		1	

キオスクワークステーションを作成するには、WINSelectキオスクパネルの[有効]を選択します。

アプリケーションを追加するには、[追加] をクリックし、ワークステーション上で有効になっているいずれか の実行可能ファイルを入力します。リストに追加されたアプリケーションは、ワークステーション ユーザーに 利用可能になります。アプリケーションの隣のボックスが選択されている場合、そのアプリケーションは 再起動の後、画面上で最大表示されます。隣のボックスが選択されていないアプリケーションも利用可能 で、WINSelect キオスク パネルからアクセスできます。キオスク パネル に追加されたアプリケーションは、 WINSelectで設定が適用されるまで、公開状態のままです。

ランチャーからある特定のアプリケーションを除外するためには、[キオスク ランチャーから自動的に機動され たアプリケーションを除外する]チェックボックスを選択します。

[アプリケーション ウィンドウの現在のサイズと位置をそのまま保ちます] チェックボックスを選択して、有効にしたアプリケーションのウィンドウ サイズおよびデスクトップ上の位置を指定します。このオプションが 選択されている場合、選択したアプリケーションが即座に開き、管理者はウィンドウ フレームの端をクリック &ドラッグすることによってサイズおよび位置を設定できます。



デスクトップ ショートカットはアプリケーションのリストに追加できません。実行可能 ファイルそのものを追加する必要があります。

WINSelect キオスクには 3通りの使い方があります。

- 1つ以上の最大化されたアプリケーション: これらを Windows タスクバーを使って選択できます。
 [追加] ボタンを使って一連のアプリケーションを選択し、追加した各アプリケーションの隣のチェック ボックスを選択してこれらを有効にします。
- アプリケーションを選択(最大化さない):アプリケーションをWINSelect キオスクパネルからアクセスできます。[追加] ボタンを使って一連のアプリケーションを選択することによって設定し、チェックボックスをクリアします。ユーザーは、WINSelect キオスク パネルを使ってこれらのアプリケーション間を切り替えます。

アプリケーションを選択 (サイズ指定、管理者により配置): 一連のアプリケーションを選択し、アプリケーション ウィンドウの [現在のサイズと位置をそのまま保ちます] チェックボックスを選択する ことによって設定します。

キオスクパネルは起動時に、最小化されタスクバーとして表示されます。

キオスクリストから実行可能ファイルを削除するには、そのファイルを選択し、[削除]をクリックします。

キオスクモードが有効にされると、次の設定が自動的に適用され、無効にすることができません。

- タスクマネージャは無効にされます。
- ・ タスクバーまたは [スタート] メニューの右クリックは無効にされます。
- ・ タスクバー アイコンは非表示にされます (システムトレイ、クロック)
- [スタート] ボタンは完全に無効にされます
- アプリケーションは無効にされます
- ・ すべての UNC (Universal Naming Convention) が無効にされます
- Internet ExplorerとFirefoxからの印刷が無効にされます

変更を保存し、キオスク設定を作成するには、[適用] をクリックします。変更を有効にするには、ログオフする必要があります。

WINSelect キオスクパネル

WINSelect キオスクがワークステーション上で有効にされたとき、選択したアプリケーションが WINSelect キオスク パネルに表示されます。デフォルトでは、このパネルは起動時に最小化されタスクバーとして表示されます。WINSelectキオスクパネルを最大化するには、タスクバーをクリックします。



スケジュール設定アクション

Faronics Core Consoleを使用して WINSelectのアクションをスケジュール設定することができます。設定オプション として 1回のみ、毎日、毎週および毎月が可能で、1つまたは複数の ワークステーションに設定できます。スケジュール できるアクションは 次の通りです: シャットダウン、再起動、起動、保護を有効、保護を無効。

アクションを選択するには、右ペインの [アクションのスケジュール設定] をクリックし、表示のようにメニューから適当なアクションを選択します。

高 アクショ	シのスケジューノ	シャットダウン またかた	
🙈 ワークス	ステーションの構	日 起 助 上 赴 動	
🛼 データ	有効化	保護	▶
Br 12.	無効止		

また、選択したクライアントを右クリックし、コンテキスト メニューから [アクションのスケジュール設定] を 選択して適切なアクションを選択する方法もあります。

各スケジュール設定オプションには、次のようにアクションの頻度に応じて異なる構成オプションがあります。

📵 コンソール アクションをスケジュールする 🛛 🛛 🛛
タスク名: 【保護を無効にする【WSE】
ンケのタスクをスケジュール。設定:
-1 回のパターン
タスク実行時刻: 4:25:14 🔆
タスク実行日 2008年10月18日 -
<u>QK</u> キャンセル

タスクを一回のみ実行するには、[一回のみ実行] ラジオボタンを選択します。

タスクを実行する日付と時刻を入力します。

[OK] をクリックしてタスクのスケジュール設定を完了するか、[キャンセル] をクリックしてダイアログを終了 します。

付録 A: ユーザー シナリオ

次の 2つのユーザー シナリオは、ワークステーションの使用目的となるタスクに基づいて、可能な WINSelect 設定の 概略を示しています。また、他のシナリオも可能です。

User 1 — ライブラリ システム管理者

ワークステーションの機能	推奨する設定
ユーザーはインターネット、ライブラリカード	次のアプリケーションでキオスク モードを有効にします。
カタログ、および一部のワープロ機能にアクセス するために使用します。	Internet Explorer (IEXPLORE.EXE)
	Microsoft Word (WINWORD.EXE)
ユーザーは、チャットまたは電子メール アプリケー ションの使用を禁止されます。	Internet Explorer をデフォルトの起動時に最大表示する アプリケーションとして設定します。
不適切な Web サイトおよび他の Web ベースのゲー ムまたはアプリケーションをブロックするために 既存のコンテンツ/フィルタが配置されています。	ワークステーション上で許可されている操作を指定する [使用許諾ポリシー]メッセージを適用します。
ユーザーのコンピュータ使用時間は、1 セッションに つき 30 分に制限されています。	作成されたアクセス コードのセットによってユーザー セッションを有効にします。
ユーザーは指定されているセッションあたりの印刷 ページ数だけを印刷できます。	プリンタ制限を有効にし、印刷できるページ数の制限を 設定します。

User 2 — 企業 IT 管理者

ワークステーションの機能	推奨する設定
ユーザーは、Microsoft Office スイートにアクセスする 必要があります。	タスク マネージャへのアクセスを禁止し、UNC パスを 無効にするようにシステム ノードを設定します。
ユーザーは、電子メールおよび情報を保存するため のネットワーク フォルダにアクセスする必要があり ます。	アドレス バーからファイルまたはフォルダを開くのを 禁止するように、アプリケーションおよびインターネット ブラウザ ノードを設定します。
ユーザーが C:\ ドライブのいずれかの場所にファイル を保存したりアクセスしたりするのを禁止する (自分のプロファイルへのアクセスを含めて) 必要が あります。	
ユーザーはワークステーション上にどのような ゲームもインストールしてはいけません。	アプリケーション ノードで、実行してはいけないアプリ ケーション (ゲーム類) をブロックするように設定します。
インターネット アクセスのフィルタを解除する必要 があります。	C:\ へのアクセスを禁止するように、ドライブおよび ファイル拡張子を設定します。
	クラシック レイアウトを使用し、日常的な操作に必要で ないアプリケーションを無効にするように、[スタート] メニューを設定します。
	すべてのアプレットを非表示にするように [コントロール パネル] を設定します。
	すべてのデスクトップ アイコンを非表示にします。

付録 B: コマンド ライン インストール オプション

コマンドライン インストール オプションは、WINSelectのインストールの柔軟性を高めます。次の機能とコマンドが利用できます。

機能	コマンド
サイレント インストール	<pre>msiexec /q /i [path]WINSelect_Ent_32-bit.msi WSADMINPSW=[password] WSADMINCONFIRMPSW=[password] WSPIDKEY=[License key]</pre>
サイレント インストール (Evaluation version)	<pre>msiexec /q /i [path]WINSelect_Ent_32-bit.msi WSADMINPSW=[password] WSADMINCONFIRMPSW=[password] WSUSEEVAL=1</pre>
サイレント アンインストール	<pre>msiexec /q /x [path]WINSelect_Ent_32-bit.msi</pre>
<i>ライセンス</i> <i>キー</i> の有効化	WINSelect.exe /NoGui /Password= <password> /License=<license key></license </password>

[path]: WINSelect の場所

付録 C: WINSelect のアンインストール

WINSelect Loadinのアンインストール

WINSelectは、[プログラムの追加と削除] を使用して アンインストールできます。そのためには、[スタート]> [コントロール パネル] > [プログラムの追加と削除] > [Faronics WINSelect Loadin] > [削除] を選択します。 WINSelect Loadinをアンインストールすると、Faronics Core Consoleから、すべての WINSelect管理機能が 削除されます。個々のワークステーションから、WINSelectのインストレーションを削除するわけではあり ません。

Faronics Core Consoleを使用したワークステーション上のWINSelectのアンインストール

Faronics Core Consoleを使用して、WINSelectをワークステーションから削除できます。

- 1. Faronics Core Consoleを開きます。
- 2. コンソールの左ペインで、[ワークステーション] > [マネージド ワークステーション]をクリックします。
- 3. WINSelectを削除するワークステーションを右クリックします。
- 4. [クライアントの構成] > [詳細] > [WINSelect をアンインストール] をクリックします。

アンインストール ウィザードを使用した個々のワークステーションでのアンインストール



WINSelectのアンインストールを実行するために、管理者 ノードをクリックし、[有効化] ボックスがオフになっていることを確認します。

WINSelect をインストールするために使用した .msi ファイルをダブルクリックして、WINSelectを削除する ことができます。セットアップ ウィザードが表示されます:

- 1. WINSelect インストーラ WINSelect_Ent_32-bit.msi を起動します。アンインストール ウィザードが 表示され、アンインストールの確認を要求します。
- 2. ワークステーションを再起動してアンインストールを完了します。



アンインストールを完了するために、管理者は少なくとも 1回 Windows からログアウトし、 再ログインする必要があります。